

第127期 中間報告書

平成19年4月1日



平成19年9月30日



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、日頃より株式会社ノリタケカンパニーリミテドをご支援いただきまして、誠にありがとうございます。

ここに、ノリタケグループの平成19年度連結中間期（平成19年4月1日から平成19年9月30日まで）の経営成績についてご報告申し上げます。

当中間期の連結売上高は、660億6千7百万円（前年同期比1.2%増加）、連結経常利益は、53億2千2百万円（前年同期比8.1%増加）、連結中間純利益は、28億4千9百万円（前年同期比3.6%増加）となり、連結売上高、連結経常利益及び連結中間純利益ともに前年同期を上回ることができました。

（平成19年度連結中間期の営業概況と下半期の事業方針）

次に、当中間期におけるノリタケグループの事業セグメント別の営業概況及び下半期（平成19年10月1日から平成20年3月31日まで）の事業方針についてご報告申し上げます。

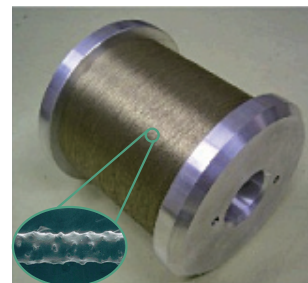
工業機材事業

1. 営業概況

研削砥石は、中国及び韓国における鉄鋼業界向け砥石が好調であったものの、主要な顧客である自動車・ベアリング業界における一部生産調整の影響を受けて売上は微増となりました。CBN工具は研削砥石と同様、一部顧客の生産調整の影響を受けて横ばいにとどまりました。ダイヤモンド工具は、電子・半導体業界向けを中心に新商品等を投入して拡販に努めました結果、売上げが増加いたしました。研磨布紙は、国内・海外ともに苦戦し、特にアジア地区では中国製安価品の攻勢を受けて減少いたしました。その結果、工業機材事業の連結売上高は226億3千9百万円（前年同期比0.4%増加）となりました。

2. 事業方針

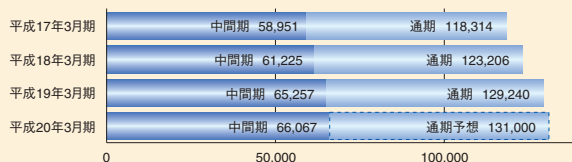
優位性の高い新商品及び新技術の開発を図るとともに、グローバル化を進め、継続的な成長と強い事業体質を目指します。そのために電子・半導体業界や高精密加工分野を強化するとともに、中国・アジア市場に注力してまいります。



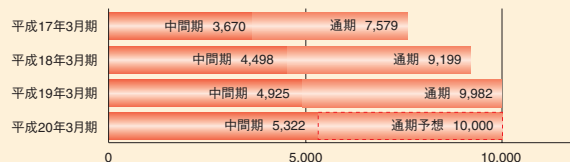
固定砥粒ワイヤソー及びその拡大図

連結売上高及び連結経常利益（単位：百万円）

連結売上高



連結経常利益



食器事業

1. 営業概況

国内市場では、新規ホテルや法人向け需要の取り込みがありましたものの、市場全体の縮小傾向をカバーしきれず、前年同期に比べ売上げは減少いたしました。北米市場は、百貨店向けの販売が減少したのに対し、近年成長しつつあるライフスタイルショップ向けが伸びてまいりましたものの、全体では減少いたしました。欧州及びアジア市場では、航空用食器が好調に推移いたしました。海外市場全体では売上げが減少いたしました。その結果、食器事業の連結売上高は90億4千9百万円（前年同期比7.3%減少）となりました。

2. 事業方針

国内市場では、引き続き市場が縮小傾向にありますものの、高付加価値商品の投入や不採算品の整理など、商品ラインアップの再構築により、収益体質の確立に努めてまいります。北米市場におきましては、中高価格帯のシェア拡大を図るとともに、特に伸長著しいライフスタイルショップにおける販売に注力してまいります。アジア市場では、航空用食器のほかに、百貨店ルート販売の育成を図ってまいります。



ノリタケポーンチャイナ
“あやみなも”

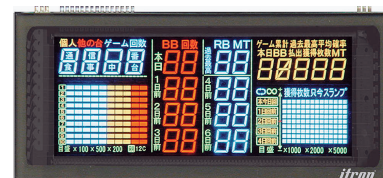
電子事業

1. 営業概況

国内市場におきましては、顧客生産拠点の海外移転などの影響を受け、蛍光表示管、大型高精細印刷技術応用製品ともに減少いたしました。海外市場におきましては、北米における純正車載向け及びホームオーディオ用蛍光表示管が順調に売上げを伸ばしました。アジアにおきましてもオーディオや産業機器向け商品の販売が好調に推移いたしました。その結果、電子事業の連結売上高は63億7千1百万円（前年同期比5.3%増加）となりました。

2. 事業方針

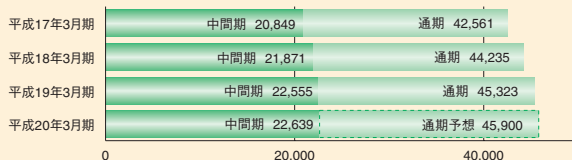
蛍光表示管単体販売からシステムとしての商品への展開により、高付加価値化を図ります。また、高品質な生産システムを確立するとともに、国際的なコスト競争力を高め、純正車載向け商品の受注に努めてまいります。



ドライバー内蔵蛍光表示管

事業セグメント別連結売上高（単位：百万円）

工業機材事業



食器事業



セラミック・マテリアル事業

1. 営業概況

電子部品や薄型テレビの生産拡大に伴い、電子用ペースト、セラミック原料が大幅に伸長したほか、電子部材も好調に推移いたしました。また、車載用の厚膜印刷回路基板や衛生陶器用の石膏も増加いたしました。その結果、セラミック・マテリアル事業の連結売上高は163億9百万円（前年同期比12.0%増加）となりました。

2. 事業方針

電子材料の新商品開発を促進してまいります。また、セラミックスを素材とした高品質で独自性のある商品開発を進め、市場展開いたします。更にデンタル関連商品を中心として、海外市場での拡販とそのための生産体制の強化を図ってまいります。



チップコンデンサ用ペーストとコンデンサ断面図

環境エンジニアリング事業

1. 営業概況

遠赤外線ヒーター乾燥機、高能率焼成炉RHK等は、ディスプレイ、電子、エネルギー分野向けが好調で売上げが増加いたしました。その他、鉄鋼業界向けの研削機械は、日本及び韓国で好調でしたが、自動車部品やベアリング業界向けの濾過装置や超硬丸鋸切断機は、大型物件の納入時期の遅れから計画を下回りました。その結果、環境エンジニアリング事業の連結売上高は116億9千7百万円（前年同期比5.1%減少）となりました。

2. 事業方針

IT産業を中心に焼成炉、乾燥機を集中的に展開いたします。また、太陽電池やリチウム電池など新しい市場の開拓を進めてまいります。スタティックミキサーや濾過装置、研削機械は、当社の固有技術を更に発展させ、海外市場での拡販を図ってまいります。



澱粉糖化システム

電子事業



セラミック・マテリアル事業



次に、株式会社ノリタケカンパニーリミテド単独の平成19年度中間期の経営成績についてご報告申し上げます。

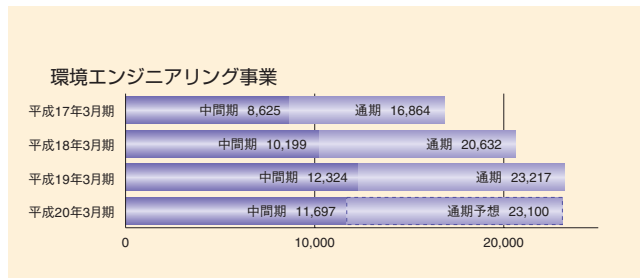
当中間期売上高は、459億5千3百万円（前年同期比0.9%増加）、経常利益は、23億4千5百万円（前年同期比4.6%減少）、中間純利益は、17億8千9百万円（前年同期比4.5%増加）となりました。なお、中間配当金につきましては、前年同様1株につき4円50銭を継続することといたしました。

ノリタケグループは、「着実な成長」を遂げることにより、「企業価値の最大化」と「次世代への発展のための基盤作り」を目指し、事業を進めてまいります。また、コーポレート・ガバナンス（企業統治）とコンプライアンス（法令遵守）に全力を挙げて取り組んでまいります。

株主の皆様には、このようなノリタケグループの取り組みに対しご理解をいただきますとともに、今後とも多大なるご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年12月

代表取締役社長 赤 羽 昇



株式会社ノリタケカンパニーリミテド第127期中間期連結決算概要

中間連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

科 目	第127期（当中間期） [平成19年9月30日現在]	第126期（前中間期） [平成18年9月30日現在]	第126期 [平成19年3月31日現在]
資 産 の 部			
流 動 資 産	78,368	72,776	76,538
固 定 資 産	71,352	71,987	72,288
有 形 固 定 資 産	35,417	34,670	34,641
無 形 固 定 資 産	696	665	738
投 資 そ の 他 の 資 産	35,238	36,650	36,907
資 産 合 計	149,720	144,763	148,827
負 債 の 部			
流 動 負 債	40,242	39,856	39,990
固 定 負 債	20,957	21,300	21,728
負 債 合 計	61,200	61,157	61,719
純 資 産 の 部			
株 主 資 本	72,670	68,153	70,507
資 本 金	15,632	15,632	15,632
資 本 剰 余 金	18,835	18,834	18,835
利 益 剰 余 金	43,366	38,802	41,182
自 己 株 式	△5,163	△5,116	△5,141
評 価 ・ 換 算 差 額 等	8,109	7,776	8,762
その他有価証券評価差額金	11,098	11,936	12,344
為 替 換 算 調 整 勘 定	△2,988	△4,160	△3,582
少 数 株 主 持 分	7,739	7,676	7,837
純 資 産 合 計	88,519	83,606	87,107
負 債 及 び 純 資 産 合 計	149,720	144,763	148,827

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書（要約）

（単位：百万円）

科 目	第127期（当中間期） 〔平成19年4月 1 日から 平成19年9月30日まで〕	第126期（前中間期） 〔平成18年4月 1 日から 平成18年9月30日まで〕	第126期 〔平成18年4月 1 日から 平成19年3月31日まで〕
売 上 高	66,067	65,257	129,240
売 上 原 価	46,682	46,622	92,034
売 上 総 利 益	19,385	18,635	37,206
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	14,312	13,983	27,742
営 業 利 益	5,072	4,651	9,463
営 業 外 収 益	385	386	725
営 業 外 費 用	135	112	206
経 常 利 益	5,322	4,925	9,982
特 別 利 益	42	395	1,451
特 別 損 失	159	309	1,035
税金等調整前中間（当期）純利益	5,205	5,010	10,398
法人税、住民税及び事業税	1,729	1,909	3,640
法 人 税 等 調 整 額	328	95	457
少 数 株 主 利 益	297	254	504
中 間（ 当 期 ） 純 利 益	2,849	2,750	5,795

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

（単位：百万円）

科 目	第127期（当中間期） 〔平成19年4月 1 日から 平成19年9月30日まで〕	第126期（前中間期） 〔平成18年4月 1 日から 平成18年9月30日まで〕	第126期 〔平成18年4月 1 日から 平成19年3月31日まで〕
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,733	4,520	8,308
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,282	△1,574	△2,536
財務活動によるキャッシュ・フロー	△729	△1,272	△3,661
現金及び現金同等物に係る換算差額	161	△9	119
現金及び現金同等物の増減額	△1,116	1,663	2,229
現金及び現金同等物の期首残高	13,439	11,210	11,210
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	12,323	12,874	13,439

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結株主資本等変動計算書

〔平成19年4月 1 日から〕
〔平成19年9月30日まで〕
(単位：百万円)

	株 主 資 本				
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	自 己 株 式	株主資本合計
平 成 1 9 年 3 月 3 1 日 残 高	15,632	18,835	41,182	△ 5,141	70,507
中間連結会計期間中の変動額					
剰 余 金 の 配 当			△ 665		△ 665
中 間 純 利 益			2,849		2,849
自 己 株 式 の 処 分		0		1	1
自 己 株 式 の 取 得				△ 23	△ 23
株主資本以外の項目の中間 連結会計期間中の変動額(純額)					
中間連結会計期間中の変動額合計	—	0	2,184	△ 21	2,162
平 成 1 9 年 9 月 3 0 日 残 高	15,632	18,835	43,366	△ 5,163	72,670

	評 価 ・ 換 算 差 額 等			少数株主持分	純 資 産 合 計
	その他有価証券 評価差額金	為 替 換 算 調 整 勘 定	評価・換算 差額等合計		
平 成 1 9 年 3 月 3 1 日 残 高	12,344	△ 3,582	8,762	7,837	87,107
中間連結会計期間中の変動額					
剰 余 金 の 配 当					△ 665
中 間 純 利 益					2,849
自 己 株 式 の 処 分					1
自 己 株 式 の 取 得					△ 23
株主資本以外の項目の中間 連結会計期間中の変動額(純額)	△ 1,246	594	△ 652	△ 97	△ 750
中間連結会計期間中の変動額合計	△ 1,246	594	△ 652	△ 97	1,412
平 成 1 9 年 9 月 3 0 日 残 高	11,098	△ 2,988	8,109	7,739	88,519

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式会社ノリタケカンパニーリミテド第127期中間期単独決算概要

中間貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

科 目	第127期 (当中間期) H19.9.30現在	第126期 (前中間期) H18.9.30現在	第126期 H19.3.31現在
資 産 の 部			
流 動 資 産	41,385	39,238	38,563
固 定 資 産	71,002	72,768	72,718
有形固定資産	16,022	16,173	16,093
無形固定資産	320	344	356
投資その他の資産	54,659	56,250	56,268
資 産 合 計	112,387	112,007	111,281
負 債 の 部			
流 動 負 債	27,965	28,687	26,183
固 定 負 債	14,722	14,420	15,383
負 債 合 計	42,688	43,107	41,567
純 資 産 の 部			
株 主 資 本	59,333	57,851	58,230
資 本 金	15,632	15,632	15,632
資本剰余金	18,812	18,811	18,812
利益剰余金	30,052	28,523	28,927
自 己 株 式	△5,163	△5,116	△5,141
評価・換算差額等	10,365	11,047	11,484
純 資 産 合 計	69,699	68,899	69,714
負債及び純資産合計	112,387	112,007	111,281

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間損益計算書（要約）

（単位：百万円）

科 目	第127期 (当中間期) H19.4.1 から H19.9.30まで	第126期 (前中間期) H18.4.1 から H18.9.30まで	第126期 H18.4.1 から H19.3.31まで
売 上 高	45,953	45,543	89,429
売 上 原 価	42,481	42,048	82,635
売 上 総 利 益	3,472	3,494	6,794
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	2,397	2,349	4,652
営 業 利 益	1,074	1,144	2,142
営 業 外 収 益	1,760	1,758	2,984
営 業 外 費 用	489	445	914
経 常 利 益	2,345	2,457	4,212
特 別 利 益	12	34	45
特 別 損 失	47	160	257
税 引 前 中 間 (当期)純利益	2,309	2,332	4,001
法人税、住民税 及 び 事 業 税	173	464	832
法人税等調整額	347	156	388
中間(当期)純利益	1,789	1,712	2,781

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

会 社 の 概 要

[平成19年9月30日現在]

創 立 明治37年 1 月 1 日（合名会社）
 設 立 大正 6 年 7 月20日
 資 本 金 156億3,230万4,225円
 本 社 名古屋市西区則武新町三丁目 1 番36号
 在籍従業員数 1,167名（連結5,382名）
 （注）在籍従業員数のうち、グループ会社への出向者は985名であります。
 連結対象会社 Noritake Co., Inc.

株式会社ノリタケボンデッドアブレーション
 株式会社ノリタケスーパーアブレーション
 株式会社ノリタケコーテッドアブレーション
 株式会社ノリタケテーブルウェア
 日本陶器株式会社
 ノリタケ伊勢電子株式会社
 共立マテリアル株式会社
 ノリタケ機材株式会社
 株式会社ノリタケセラミックス
 株式会社ノリタケエンジニアリング
 上記を含む連結対象子会社38社、持分法適用会社 2 社

役 員	代表取締役会長	岩 崎 隆	取締役	小 倉 忠
	代表取締役社長	赤 羽 昇	取締役	山 田 耕 三
	代表取締役副社長	内 田 宏	取締役	島 崎 悟
	取締役副社長	種 村 均	常勤監査役	広 沢 博 保
	専務取締役	土 森 道 雄	常勤監査役	安 藤 一 成
	専務取締役	山 田 陽 一	監 査 役	岡 本 和 也
	専務取締役	鈴 木 洋 一	監 査 役	森 山 寧 慈
	常務取締役	中 山 和 尊		

（注）監査役 岡本和也及び森山寧慈の両氏は、会社法第 2 条第16号に定める社外監査役であります。

会 計 監 査 人 あずさ監査法人

主要な事業内容

	工業機械事業	食器事業	電子事業	セラミック・マテリアル事業	環境エンジニアリング事業
主 な 製 品	研削砥石、ダイヤモンド工具、CBN工具、ドレッサ、研磨布紙、研削・研磨関連商品（研削油、パレルメディア等）	陶磁器食器、クリスタルガラス食器、金属食器、メラミン食器、その他食器関連商品、装飾・美術品等	蛍光表示管及び同モジュール、大型高精細印刷技術応用製品等	電子用ペースト、厚膜印刷回路基板、ファインセラミックス、セラミック資材（石膏、水金、転写紙等）、デンタル関連商品、セラミック原料、電子部材等	遠赤外線ヒーター乾燥機、高能率焼成炉RHK、特殊高温雰囲気炉、耐火物、スタティックミキサー及び応用装置、濾過装置、研削機械、超硬丸鋸切断機等
					
	自動車部品加工用 “CBN グリットエース”	ノリタケボンチャイナ “郷愁果”	輝度階調蛍光表示管モジュール	電子用ペースト	超小型タイプRHK

株 式 の 状 況

[平成19年9月30日現在]

発行可能株式総数	397,500,000株
発行済株式の総数	158,428,497株
株主数	16,331名
大株主	

株 主 名	持株数 (千株)	出資比率(%)
明治安田生命保険相互会社	12,095	7.63
第一生命保険相互会社	11,700	7.39
株式会社ノリタケカンパニーリミテド(自己株式)	10,641	6.72
日本生命保険相互会社	8,979	5.67
株式会社三菱東京UFJ銀行	7,308	4.61
T O T O 株 式 会 社	4,667	2.95
東京海上日動火災保険株式会社	4,599	2.90
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,597	2.27
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,328	2.10
三菱UFJ信託銀行株式会社	2,819	1.78

株価の推移 (東京証券取引所)



株式のしおり

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 電子公告の掲載ホームページアドレスは次のとおりです。 http://www.noritake.co.jp/koukoku/
定時株主総会の基準日	3月31日
剰余金の配当基準日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部
郵便物送付先 電話お問合せ先	〒137-8082東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 電話0120-232-711（フリーダイヤル）
同 取 次 所	三菱UFJ信託銀行株式会社全国各支店
単元未満株式の 買取請求・買増請求	単元未満株式（1,000株未満株式）の買取請求・買増請求は、上記株主名簿管理人事務取扱場所及び取次所にてお取扱いいたしております。ただし、株券保管振替制度をご利用されている場合は、お取引の証券会社にお申し出ください。

住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式の買取請求・買増請求に必要な各用紙並びに株式の相続
手続依頼書のご請求は、株主名簿管理人のフリーダイヤル0120-244-479で24時間承っておりますので、ご
利用ください。